

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	7	事業名	地域間交流事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪	決算書ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	3 自治体間連携の推進	会計区分	一般会計	
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款 - 項 - 目)		
	その他(関係計画、要綱等)	有 交流宣言書(南木曾町)、きずなづくりの誓い(宝塚市)	2-1-9 まちづくり協働費		
	事業開始の背景、経緯等	南木曾町は木曾川の水源地が緑で平成18年に交流宣言書調印を行い、宝塚市は介助犬訓練施設「シンシアの丘」が緑で平成24年に覚書「きずなづくりの誓い」を締結し、交流を開始した。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 自治体(行政)間の交流を推進する。特に友好提携を結んでいる長野県南木曾町及び兵庫県宝塚市との交流を推進する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民往来者数
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 友好提携自治体間でより活発な交流をする。

項目	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
事業費(A)	千円	予算	54	59	59	59	48
		決算	23	17	30	8	
人件費(B)	千円	決算	2,658	1,749	1,581	592	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	2,681	1,766	1,611	600	
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)			—	—	—	—	—
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		—	—	—	—	—

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
自治体間相互訪問交流件数	件	目標	6	7	7	7	7
		実績	7	7	7	2	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
両市町と本市との交流の実態を把握するため、行事への参加など、自治体間で行った相互訪問や交流事業及び情報交換した件数を指標とする。			交流を行う自治体担当者と情報共有を行い、目標値を設定した。概ね2年ごとに1つずつの交流件数増加を目標とする。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、自治体間の往来が制限されている状況が続き、自治体間の交流が思うように実施できなかった。
活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 市内施設相互利用優待制度の利用者が伸び悩んでおり、新たな自治体間交流の形を検討している。令和2年度は南木曾町が市内で物産展開催を予定しており、直前まで実施に向けた調整を行っていたが、新型コロナウイルスの拡大により実施することができなかった。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 新しい自治体間交流のメニューとして、自治体の物産品の紹介を広報紙等に掲載を行ったり、前述した物産展の開催等の検討を進めている。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	地域間交流事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 定の指標】 自治体間相互訪問及び交流件数	件	見込	4	5	5	5	5
			実績	1				
(3) 友好提携自治体の物産品展開催回数	回	見込	1	1	1	2	2	
		実績	0					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> R2実績:1件(市内施設相互利用優待制度)※南木曾町との交流 長久手市内での南木曾町物産展開催については実施に向けた調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。							今後の方向性	拡充

事業を構成する 事務事業②	事務事業②							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

事業を構成する 事務事業③	事務事業③							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 例年交流がある南木曾町に関しては、施設相互利用促進だけでなく、市全体で交流が活発になるよう新たな事業が実施できないか協議を行う。
	中長期の目標	(いづれまでに事業をどのような状態にしたいか) 毎年交流事業を行っている南木曾町以外の友好都市との今後の交流について、令和5年度までに情報の整理を行い、今後の交流の方向性を決定する。

内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革指針に係る「自治体間連携の推進」を踏まえ、引き続き事業に取り組んでください。 ・市民との連携協働の可能性が「有」のため、事務事業での市民参加について模索してください。
	内部意見への回答	